

えがおふれあいたかめあ きらい かがやく あざ二っ子

横浜市立あざみ野第二小学校
学校だより 12月号

第9号 令和6年11月27日発行

学校だよりはホームページにも掲載されています。
学校日記も更新中です。ぜひご覧ください。
青葉区あざみ野三丁目29番地3
TEL 045-902-4866



自分も大切 友達も大切

校長 大幸 麻理

2024年も残すところ一か月あまりとなりました。月日の流れの早さに驚くばかりです。

そんな中で、子どもたちは、**なかよしペア学年**と地域の公園に遊びに行き、上級生がリーダーとなって交流を深めながら秋の自然の中で遊びを楽しみました。先日1年生は近隣の保育園の年長さんを学校に招き、秋の自然を生かして作ったおもちゃやゲームで**あきまつり**を楽しみました。それぞれの学年で、校内外の様々な人たちとの交流が行われています。**目的意識と相手意識**をしっかりとって活動することを学んでいます。

さて、25日（月）に全クラスで「いじめのアンケート」を実施しました。嫌な思いや辛い思いをしてもなかなか自分から言えない子どもがたくさんいます。そんな子ども達の思いをキャッチする目的で、本校は年間3回のアンケートを実施しています。アンケート後は、担任と子ども達一人一人との「子ども面談」を行い、子どもの思いを汲み取り支援につなげていきます。「いじめ」は様々な形で子ども達の中に存在しています。一見仲良く楽しそうにじゃれ合っているように見えても、実は「いじり」という名のからかいの中で、受けた側は辛い気持ちを表に出せないこともあります。また最近では、スマホやタブレットなどを使って、友達とコミュニケーションを取る子ども達が増えている中で、心ない言葉を投げたり仲間外れにしたりするという事案も起きやすくなっています。面と向かって悪口を言うより、相手の顔が見えないところで言う方がずっとハードルが低くなっているところが大きな課題です。それは大人のネット社会での匿名での誹謗中傷と同じ心理かもしれません。大人が悪い見本を見せてしまっていることに心が痛みます。

学校で使っているタブレットも、授業中の様々な場面で子ども達が学習に活用していますが、時には正しくない使い方をしている子どもも出てきます。その都度、なぜいけないのかを理解できるように指導しています。子ども達が生きているこの情報社会で、そのようなICT機器等を全く使わずに生活することは考えにくく、「**自分も友達も傷つけない使い方**」を繰り返し指導し、子ども達自身が正しい使い方を判断できる力を育てていくしかありません。

12月には、「**人権週間**」と称して、**自分も周りの人も大切にすること**を考える活動を全校で行います。友達を傷つけない、ということは当然ですが、**自分も大切にされるべき存在**であることを、子ども達一人一人が自覚してもらいたいと思います。